

# 平成 20 年度 事業報告書



学校法人 研伸学園

# 平成20年度 事業報告

## 1 法人の概要

### 1) 設置等

学校法人研伸学園・愛知きわみ看護短期大学は、平成15年4月30日に設置認可を文部科学省に申請した。同年11月27日に文科高第588号により設置が認可となった。愛知きわみ看護短期大学は、文部科学省の設置認可に基づき平成16年4月1日に修業年限3カ年の看護学科（入学定員80人）を置く短期大学として設置された。

### 2) 建学の精神・教育理念

本学の建学の精神は、第一に地域に密着し教養・技術の向上はもとより、地域の要請に応え、時機に即した教育を具体的に展開していくことにある。第二に、社会がいかに大きく変わろうとも、建学の精神を一貫して堅持していくことである。すなわち「生命の尊重と人間の尊厳を理念として、幅広い教養と豊かな人間性を持ち、誠実、親切に人々と相互信頼を保ちながら、看護を実践し広く社会に貢献できる看護師を育成する。」ことである。

本学の教育理念は、建学の精神に基づき幅広い教養と豊かな人間性を持ち、誠実、親切に人々と相互信頼を保ちながら、様々な環境・条件に応じて、看護の専門知識・技術を総合的な判断により創造的に対処・適応させる実践力の育成、臨床能力と調整能力を合わせた看護実践力の確かな育成をすることにより、健康福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。

### 3) 教育目的・教育目標

本学の教育目標は、深い専門の知識・技術を持つ看護実践力のある人材を育成することである。

- ① 人間を総合的に理解し対象の人権、価値観、尊厳を尊重した姿勢を堅持することができる人材を育成する。
- ② 誠実な心で共感をもって人々に接することができる人材を育成する。
- ③ 学んだ知識・技術を活用し、対象の成長・自己実現を援助するとともに自身も成長することができる人材を育成する。
- ④ 看護の専門知識・技術を総合的な判断により創造的に対象に適応させた看護の実践ができる人材を育成する。
- ⑤ 研究に関心を持ち自ら向上させるように主体的に学習を継続する能力を持つ人材を育成する。
- ⑥ 看護の担うべき役割を展望し、発展させ得る基盤となる能力を持つ人材を育成する。
- ⑦ 社会の多様な情報を生かし、地域社会の発展に寄与する基盤を持つ人材を育成する。

### 4) 設置する学校・学科

愛知きわみ看護短期大学 看護学科

### 5) 入学定員と平成20年度収容定員・現員(平成20年5月1日現在)

学 科	定 員	収容定員	現 員
看護学科	80人	240人	263人

【参考】平成21年度の入学定員と学生数の状況(平成21年5月1日現在)

学 科	定 員	収容定員	現 員
看護学科	80人	240人	250人

## 6) 入試に関する状況

(人)

種別	年度	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦	19	38	38	38	38
	20	35	35	35	35
	21	33	30	30	30
一般	19	93	80	78	44
	20	97	89	72	48
	21	77	67	58	33
社会人	19	5	5	5	5
	20	7	7	7	7
	21	16	15	15	15
学士	19	—	—	—	—
	20	—	—	—	—
	21	4	4	4	4
専門高校	19	—	—	—	—
	20	—	—	—	—
	21	1	1	1	1
計	19	136	123	121	87
	20	139	131	114	90
	21	131	117	108	83

## 7) 役員・教職員の概要(平成 20 年 5 月 1 日現在)

### ア) 役員 の概要

- ① 理事 6名(理事長含む) (寄附行為第5条第1項第1号)
- ② 理事長 伊藤伸一 (寄附行為第5条第2項)

イ) 監事 2名 (寄附行為第5条第1項第2号)

ウ) 評議員 13名 (寄附行為第17条第1項第2号)

エ) 理事会の開催回数 3回

評議員会の開催回数 2回

### オ) 教職員の概要 (平成 20 年 5 月 1 日現在)

(人)

職	教授	准教授	講師	助教	小計	事務職	合計
	5	5	4	10	24	7	31

【参考】平成 21 年 5 月 1 日現在における教職員の概要

(人)

職	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	事務職	合計
	5	5	4	10	1	25	7	32

## 8) 事業の概要(20 年度に特筆すべき事業)

### ア) 学生による授業アンケート結果を集計

19 年度後期の授業後に「学生による授業アンケート」を取りまとめ、レーダーチャートの図形を使

用した資料を作成しました。

イ) 新カリキュラムを制定

保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の改正に伴う新カリキュラムを制定するにあたり、新カリキュラム委員会において検討を重ね、診療情報管理士関係の自由科目を加えたカリキュラムを作成し、文部科学省に申請し承認を得ました。

ウ) 在校生と卒業生との交流会を実施

平成20年8月6日に、昨年及び本年送り出した卒業生を本学に招き、病院での体験や進学した大学での状況等について意見交換する場として交流会を開催した。交流会では、在校生から「普段聞けない話が聞けてよかった。」など役に立った。との意見が多かった。また、看護師国家試験の対策等も話し合われました。

エ) 本学キャンパスで2回目の「第3回きわみ祭」を開催

平成20年9月27日(土)に本学のキャンパス内で2回目の「第3回きわみ祭」が〜心でつなぐ看護の絆〜をテーマとして実施し、多くの地域住民や高校生との交流や展示会、出店、コンサート等が実施しました。

オ) 教授会改革を実施

これまで、教授会規程第2条第2項により、専任講師以上で構成されていた「拡大教授会」(月2回開催)を10月から教授会規程第2条第1項に基づく学長及び教授をもって組織する新教授会において毎月1回審議することとし、専任講師以上の教員会議(月1回開催)に報告等を行うこととしました。

カ) チアフル運動会を本学において開催

地域の認知症高齢者の社会的介護施設であるグループホーム「チアフル」が主催する運動会を本年、本学において開催した。高齢化する社会の中で、地域社会においてまだまだ理解されなく、会場探しに困惑していたグループホーム「チアフル」に手を差し伸べ、本学高齢者看護学の教員や学生がボランティアとして運営に参加するなど成功裏に終えることができました。

キ) 「専門高校卒業生特別入試」及び「学士特別入試」を本年度より実施

これまで一般入試・推薦入試・社会人特別入試を行っていたが、社会のニーズに応え、新しく「専門高校卒業生特別入試」及び「学士特別入試」を実施した。今年度は合わせて5名の志願者がありました。

ク) 公開講座の実施

恒例の公開講座を平成20年12月13日(土)の午後開催し、推薦入試等で合格した高校生から地域の70歳台までの幅広い年齢層の52名が参加した。今回の講座は「健やかに老いる」(竹村講師)、「英語は大丈夫?海外での病気」(小澤淑准教授)、「看護と法律-安全な医療を目指して-」(大屋教授)等時節を取巻くテーマとなり、参加者からのアンケートは好評でした。

ケ) 自己点検・評価の実施

平成20年(2008年)の短大を取巻く現状と課題について、自己点検・評価を実施しました。自己点検・評価報告書は開設時の平成16年(2004年)から、自己点検・評価委員会を設置し活動をしています。平成22年に受ける「第三者評価」の正式な資料となります。

コ) 3回目の学位授与式を実施

本学における3回目の学位授与式を平成21年3月5日に実施し、78名を送り出しました。

## 9) 財務の概要

平成20年度の決算については、さる5月28日開催の理事会において承認されました。決算諸表は次のとおりであります。

# 資金収支計算書

平成20年 4月 1日 から  
平成21年 3月31日 まで

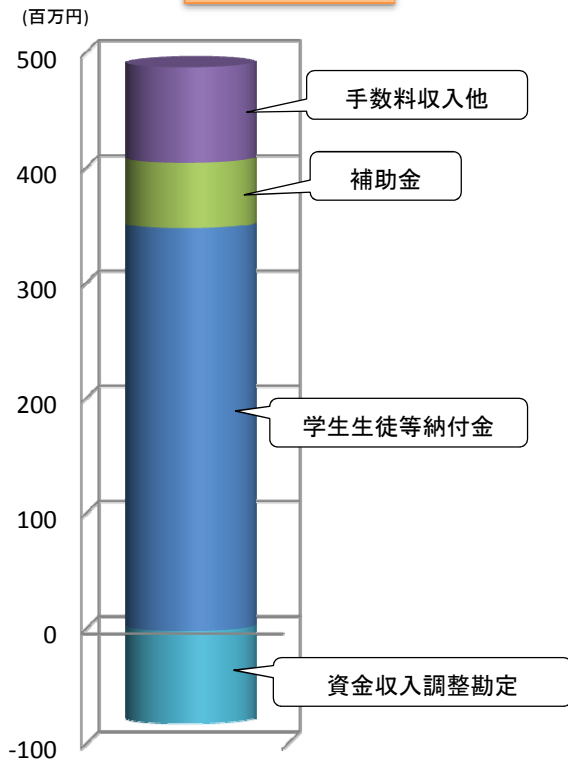
(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	( 328,000,000 )	( 349,050,000 )	( △ 21,050,000 )
手数料収入	( 3,281,000 )	( 4,901,200 )	( △ 1,620,200 )
寄付金収入	( 0 )	( 0 )	( 0 )
補助金収入	( 20,000,000 )	( 56,802,820 )	( △ 36,802,820 )
国庫補助金収入	20,000,000	56,773,000	△ 36,773,000
資産運用収入	( 1,100,000 )	( 1,520,124 )	( △ 420,124 )
資産売却収入	( 0 )	( 0 )	( △ 0 )
雑収入	( 6,000 )	( 1,963,021 )	( △ 1,957,021 )
前受金収入	( 68,000,000 )	( 70,450,000 )	( △ 2,450,000 )
その他の収入	( 3,431,000 )	( 4,114,720 )	( △ 683,720 )
資金収入調整勘定	( △ 68,000,000 )	( △ 80,500,704 )	( 12,500,704 )
前年度繰越支払資金	( 356,561,111 )	( 441,914,681 )	( 85,353,570 )
収入の部合計	712,379,111	850,215,862	△ 137,836,751

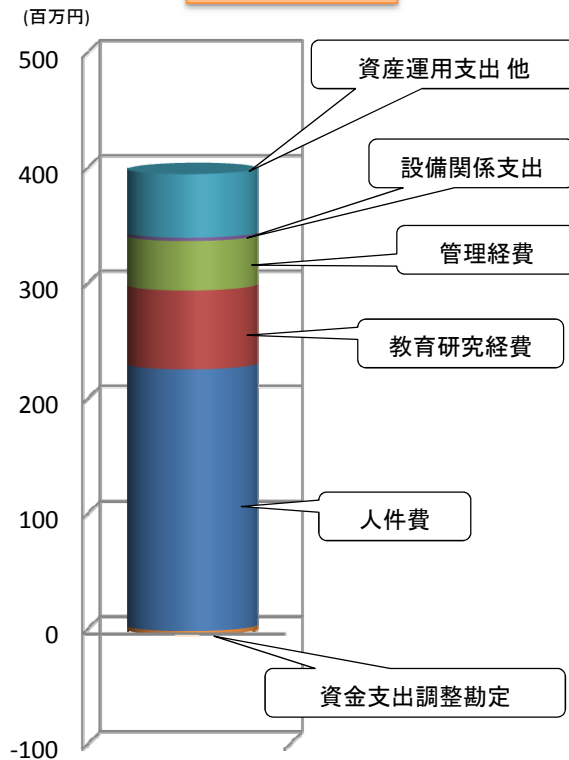
(単位 円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	( 227,390,000 )	( 226,995,916 )	( 394,084 )
教育研究経費支出	( 72,484,000 )	( 68,297,378 )	( 4,186,622 )
管理経費支出	( 42,151,000 )	( 42,811,858 )	( △ 660,858 )
設備関係支出	( 2,900,000 )	( 2,647,141 )	( 252,859 )
資産運用支出	( 0 )	( 50,039,016 )	( △ 50,039,016 )
その他の支出	( 3,063,100 )	( 5,443,613 )	( △ 2,380,513 )
予備費	( 1,000,000 )		1,000,000
資金支出調整勘定	( △ 2,267,300 )	( △ 3,819,067 )	( 1,551,767 )
次年度繰越支払資金	( 365,658,311 )	( 457,800,007 )	( △ 92,141,696 )
支出の部合計	712,379,111	850,215,862	△ 137,836,751

## 収入の部



## 支出の部



# 消費収支計算書

平成20年 4月 1日 から  
平成21年 3月31日 まで

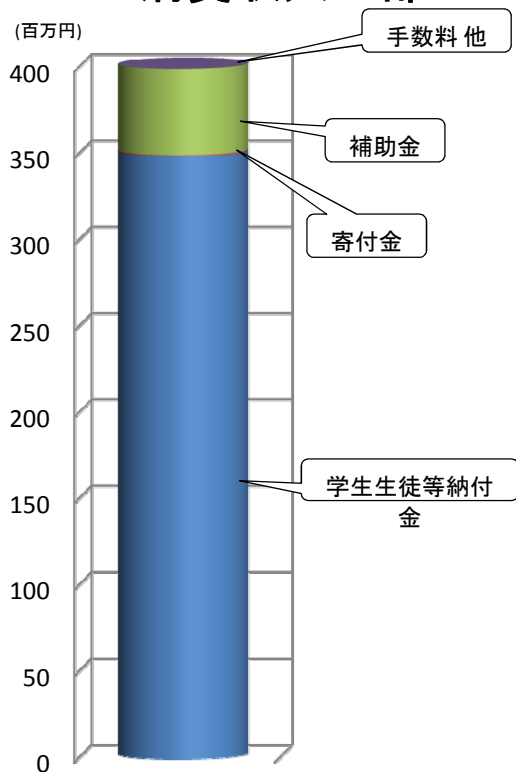
(単位 円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	( 328,000,000 )	( 349,050,000 )	( △ 21,050,000 )
手数料	( 3,050,000 )	( 4,901,200 )	( △ 1,851,200 )
寄付金	( 0 )	( 836,116 )	( △ 836,116 )
補助金	( 20,000,000 )	( 56,802,820 )	( △ 36,802,820 )
国庫補助金	20,000,000	56,773,000	△ 36,773,000
資産運用収入	( 1,100,000 )	( 1,520,124 )	( △ 420,124 )
雑収入	( 6,000 )	( 1,963,021 )	( △ 1,957,021 )
帰属収入合計	352,156,000	415,073,281	△ 62,917,281
基本金組入額合計	△ 17,500,000	△ 3,483,257	△ 14,016,743
消費収入の部合計	334,656,000	411,590,024	△ 76,934,024

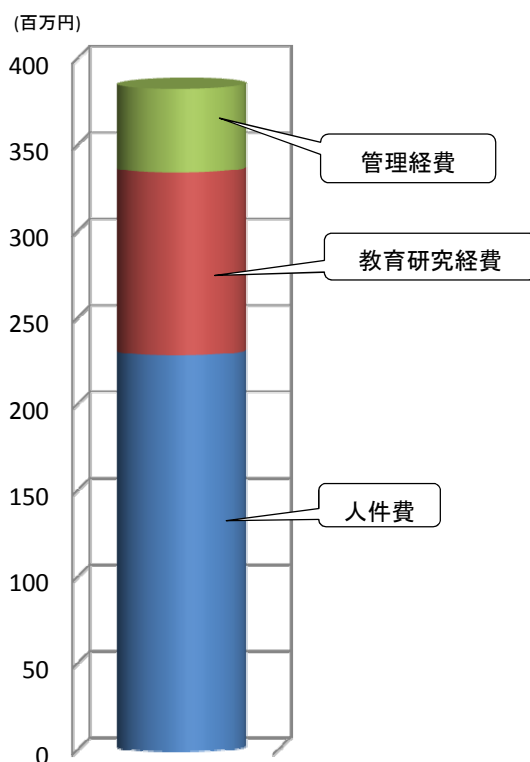
(単位 円)

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	( 227,390,000 )	( 229,058,946 )	( △ 1,668,946 )
教育研究経費	( 111,155,000 )	( 105,742,977 )	( 5,412,023 )
管理経費	( 49,867,000 )	( 48,519,772 )	( 1,347,228 )
資産処分差額	( 0 )	( 0 )	( 0 )
予備費	( 1,000,000 )		1,000,000
消費支出の部合計	389,412,000	383,321,695	6,090,305
当年度消費収入超過額	0	28,268,329	
当年度消費支出超過額	54,756,000	0	
前年度繰越消費収入超過額	305,990,310	371,810,856	
翌年度繰越消費収入超過額	251,234,310	400,079,185	

## 消費収入の部



## 消費支出の部



# 貸借対照表

平成21年 3月31日

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	( 1,569,472,077 )	( 1,559,103,317 )	( 10,368,760 )
有形固定資産	< 1,315,476,721 >	< 1,355,128,217 >	< △ 39,651,496 >
土地	343,911,000	343,911,000	0
建物	823,085,076	846,843,612	△ 23,758,536
その他有形固定資産	148,480,645	164,373,605	△ 15,892,960
その他の固定資産	< 253,995,356 >	< 203,975,100 >	< 50,020,256 >
流動資産	( 459,551,108 )	( 444,129,864 )	( 15,421,244 )
現金預金	457,800,007	441,914,681	15,885,326
その他流動資産	1,751,101	2,215,183	△ 464,082
資 産 の 部 合 計	2,029,023,185	2,003,233,181	25,790,004

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	( 10,880,435 )	( 8,817,405 )	( 2,063,030 )
退職給与引当金	10,880,435	8,817,405	2,063,030
流動負債	( 75,205,214 )	( 83,229,826 )	( △ 8,024,612 )
未払金	2,919,336	2,018,610	900,726
前受金	70,450,000	79,950,000	△ 9,500,000
預り金	1,835,878	1,261,216	574,662
負 債 の 部 合 計	86,085,649	92,047,231	△ 5,961,582

基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	1,516,858,351	1,513,375,094	3,483,257
第4号基本金	26,000,000	26,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	1,542,858,351	1,539,375,094	3,483,257

消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越 消費 収 入 超 過 額	400,079,185	371,810,856	28,268,329
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	400,079,185	371,810,856	28,268,329

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部 合 計	2,029,023,185	2,003,233,181	25,790,004

